

2025年3月期 第3四半期

アルピコホールディングス株式会社
決算補足説明資料
(東証スタンダード 証券コード 297A)

2025年2月12日

1. 2025年3月期第3四半期 決算概況	2頁
2. 2025年3月期 通期の見通し	6頁
3. 会社概要等	9頁

« 注意事項 »

- 本資料は、当社及び当社グループの情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。投資をされる際は、ご自身の判断と責任で行われますよう、お願いいたします。
- 本資料は、当社及び当社グループの見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通し等に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものであります。実際の業績は、様々な要因により予想数値と著しく異なる結果となる可能性があります。
- 当社及び当社グループ以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
また、本資料は2024年12月31日現在のデータに基づいて作成しております。本資料の転載はご遠慮ください。

1. 2025年3月期第3四半期 決算概況

2025年3月期 第3四半期決算概要（連結）

■ 決算概況

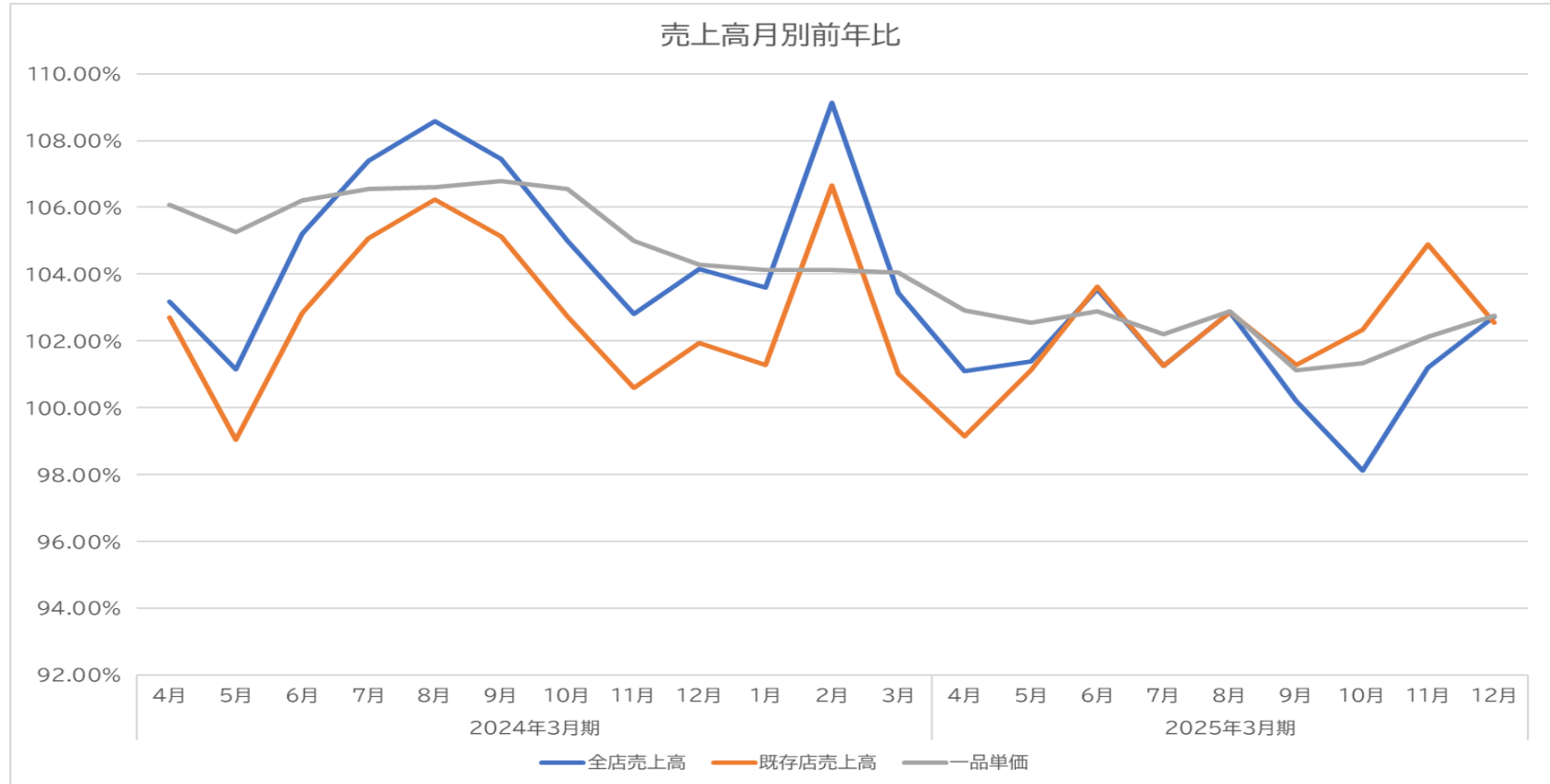
（百万円未満切捨て）

	2024年3月期 第3四半期累計	2025年3月期 第3四半期累計	前年同期比	
				増減率
営業収益	百万円 75,716	百万円 78,964	百万円 +3,247	% 4.3
営業利益	2,419	3,253	+833	34.4
経常利益	2,179	2,985	+805	37.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,606	2,176	+570	35.5

概況

- 流通事業は総菜の品揃え強化、商品価格の見直しによる単価の上昇等により、営業収益58,021百万円（前年同期比2.2%増）となりました。運輸事業は上高地や白馬等の長野県内観光地への輸送を担う観光系路線の国内外からの需要取り込み等により、営業収益9,802百万円（前年同期比9.5%増）となりました。観光事業はホテル・旅館事業が宿泊を中心に回復基調が継続し、旅行事業が出張・団体旅行等の法人需要も回復したこと等により、営業収益9,781百万円（前年同期比8.7%増）となりました。
- 以上の結果、第3四半期連結累計期間の営業利益は3,253百万円（前年同期比34.4%増）となりました。

<参考資料> 流通事業 スーパーマーケット 月別売上高の前年対比



※既存店売上高は、新店店舗(開店後12ヵ月間)を対象外としております。また大規模改装店舗についても休業期間を含め同様に対象外としています

概況

松本市内の大型店舗は2ヵ月の休業期間を経て2024年11月28日に改装OPENしました。

2024年11月まで低迷していた全店売上高前年比は回復傾向にあります。また一品単価は2024年9月以降上昇傾向にあります。青果物の相場高等の影響も大きくなっています。

＜参考資料＞ 観光事業 ホテル・旅館の施設別稼働率と単価の推移

			24/04	24/05	24/06	24/07	24/08	24/09	24/10	24/11	24/12	概況
ブエナビスタ	客室稼働率	%	69.7	78.7	69.5	73.4	82.8	79.8	84.6	80.1	61.4	稼働、単価ともに前年を上回って推移しました。早期の団体予約受注が稼働のベースとなり単価の上昇につながりました。
	前年比	pt	-5.8	2.6	1.7	2.1	4.0	8.6	10.1	8.6	7.2	
シティホテル 松本駅前	室単価 (ADR)	円	14,598	13,437	10,992	13,769	16,704	13,592	15,280	13,567	10,689	
	前年比	円	2,397	380	48	184	945	1,233	1,912	1,590	-457	
アルピコプラザ	客室稼働率	%	88.3	87.0	79.4	88.1	87.1	88.9	93.3	86.5	67.4	高単価維持の販売戦略が奏功した他、稼働も概ね好調に推移しました。
	前年比	pt	2.9	2.3	0.1	7.6	-4.3	-2.6	0.8	2.2	-7.6	
シティホテル 松本駅前	室単価 (ADR)	円	10,723	11,542	9,458	10,465	15,602	11,439	13,003	11,415	8,391	
	前年比	円	1,630	873	933	563	2,282	1,803	2,176	1,724	798	
エースイン	客室稼働率	%	92.2	91.0	81.7	90.7	94.6	95.3	97.3	75.0	68.3	稼働がほぼ全月で過去最高水準で推移した他、単価も概ね前年上回り推移しました。
	前年比	pt	3.1	6.7	0.7	3.9	2.5	3.5	2.8	-10.1	-1.8	
ビジネスホテル 松本駅前	室単価 (ADR)	円	6,712	6,943	6,384	7,312	9,043	7,659	8,045	7,952	6,316	
	前年比	円	713	-246	56	2	508	715	776	813	270	
翔峰	客室稼働率	%	79.4	80.3	67.2	73.7	76.7	76.5	82.8	80.4	67.9	団体・個人ともに集客が好調に推移し、稼働率及び単価双方にプラス寄与しました。
	前年比	pt	12.0	3.4	-7.9	1.5	-0.7	-0.1	-1.5	-6.8	1.8	
温泉旅館 美ヶ原温泉	客単価	円	23,460	22,897	22,480	24,109	28,483	25,523	26,035	24,859	21,706	
	前年比	円	2,011	-556	3,204	2,215	2,545	3,193	2,838	3,565	1,288	
朱白	客室稼働率	%	42.4	41.8	42.5	64.3	78.3	74.9	79.7	82.6	60.9	価格政策の見直し等により夏季以降は稼働率が回復し、特に10～11月の秋季は高稼働となりました。
	前年比	pt	-6.8	-17.6	-17.6	16.4	10.2	26.7	51.2	46.1	38.4	
温泉旅館 上諏訪温泉	客単価	円	21,625	23,056	20,439	20,352	27,458	20,257	21,211	20,860	20,538	
	前年比	円	4,799	4,959	5,430	2,447	658	2,328	-1,796	-2,334	-2,771	
ルミエスタ	客室稼働率	%	休館	休館	77.6	81.3	85.4	86.0	87.7	87.1	休館	改装による単価アップは想定通り進捗し、稼働も概ね好調に推移しました。
	前年比	pt			13.4	-0.5	3.7	1.4	2.4	19.4		
リゾートホテル 上高地	客単価	円			46,946	51,297	55,021	50,433	53,256	49,454		
	前年比	円	-31,418	-33,506	16,605	14,636	12,314	13,736	13,255	17,325	0	

2. 2025年3月期通期 見通し

2025年3月期 通期の見通し（連結）

■業績見通し

（百万円未満切捨て）

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期見通し	前期比	
				増減率
営業収益	百万円 99,620	百万円 102,300	百万円 +2,679	% 2.7
営業利益	2,448	2,900	+451	18.4
経常利益	2,123	2,500	+376	17.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	904	1,700	+795	88.0

業績見通しに関する説明

- 通期業績見通しは、概ね計画どおり推移しており、2024年12月25日の前回開示から変更ありません。
- 当社グループは事業の性質上、季節的変動があり、天候の要因にも大きく左右されます。例年、第4四半期（1～3月）の利益は低調に推移する傾向にあり、2025年3月期第4四半期も低調に推移するものと見込まれます。
- 今後、修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示いたします。

■配当金について

(注) () は予想値であります

普通株式 1株当たり配当金	2025年3月期 前回予想※	2025年3月期 今回予想	前回予想からの 増減額
中間配当金	0.00円	0.00円	—
期末配当金	(3.00円)	(3.00円)	—
年間配当金	(3.00円)	(3.00円)	—

※2024年12月25日適時開示

配当金に関する方針

- 期末配当金は、普通株式 1株当たり 3.00円を予定しております。
今後、配当予想を変更する場合は、速やかに適時開示する予定です。

■株主優待について

- 当社は株主優待制度を導入しておりません。
今後、株主優待制度を導入する場合は、速やかに適時開示する予定です。

3. 会社概要等

会社概要

会社名	アルピコホールディングス株式会社
本社所在地	長野県松本市井川城2丁目1番1号
代表者	代表取締役社長 佐藤 裕一
設立年月日	2008年5月1日（旧松本電気鉄道からの株式移転により設立）
創立年月日	1920年3月25日（筑摩鉄道を創立）
資本金	1,304,925千円（2024年12月31日現在）
単体従業員数	36人（2024年10月31日現在）
連結従業員数	2,013人（2024年10月31日現在）
関係会社	計11社（関連会社含む）
連結営業収益	99,620百万円（24年3月実績）
連結営業利益	2,448百万円（同上）
連結当期純利益	904百万円（同上）



アルピコホールディングス本社屋（松本市）

経営理念

アルピコグループは、
信州に暮らす人々とその素晴らしい自然環境を愛し
「安全・安心」「便利」「快適」
「楽しさ・ときめき」「知識」の提供を通じて
豊かな地域社会の実現に貢献します。

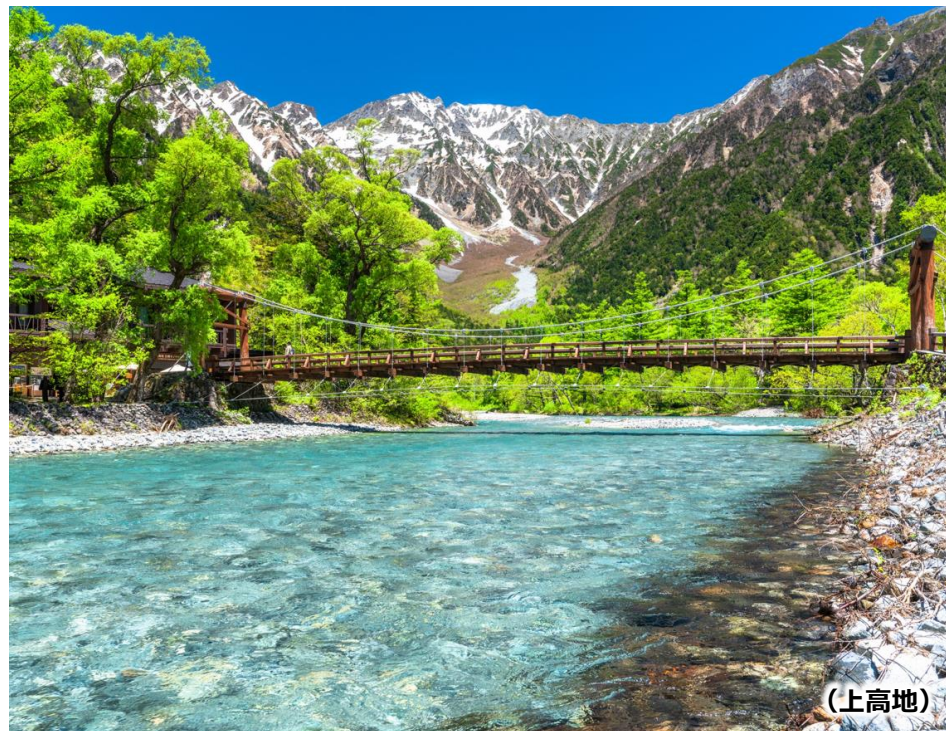
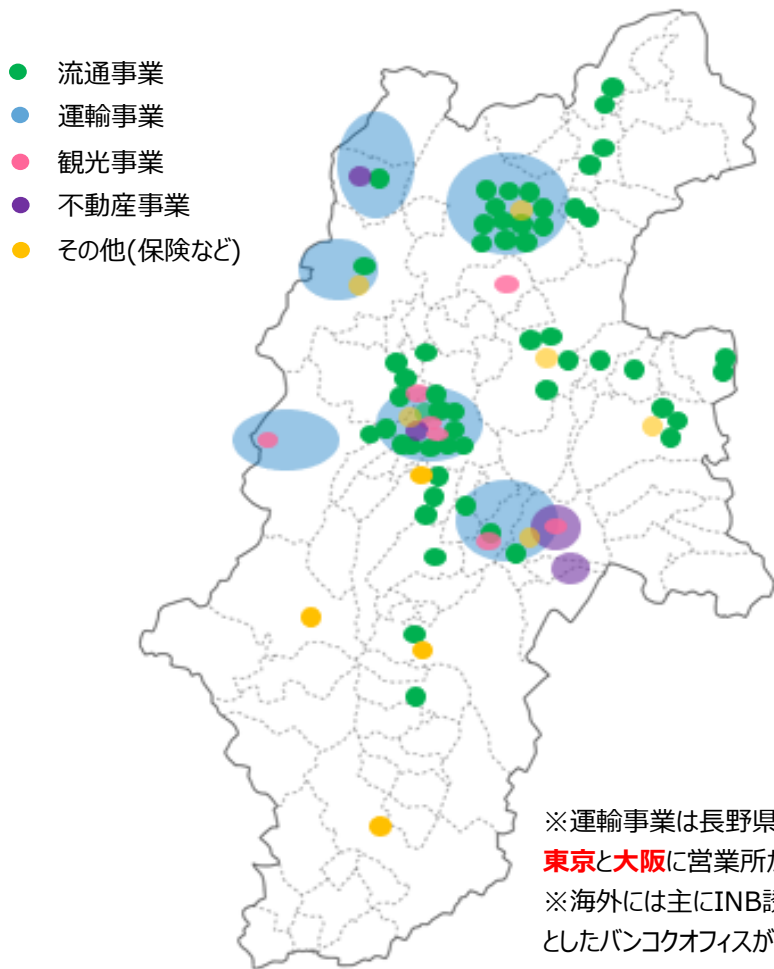
行動指針

アルピコグループの宝は
地域のお客様からの信頼です。
私たちはお客様の満足でNo.1を目指し、
誠実に行動します。

アルピコグループとは

アルピコグループは長野県中心に流通、運輸、観光、不動産事業等を展開する
長野県を代表する“総合生活関連企業グループ”

【ALPICOグループの事業エリア】



【社名 (ALPICO) の由来】

日本アルプスを背景とする地域において事業展開していることから
「ALPINE CORPORATIONS」より「ALPICO アルピコ」と命名

	事業会社*1	主な事業内容
アルピコホールディングス(株)	(株)デリシア	スーパーマーケット事業、外食事業、ピコカード事業
	(株)マックドラッグ	調剤薬局、ドラッグストアの運営
	アルピコ交通(株)	乗合・貸切バス、鉄道、サービスエリア、不動産、自動車整備
	アルピコタクシー(株)	一般タクシー、貸切バス、自治体バス受託運行
	アルピコホテルズ(株)	ホテル6施設の運営、船舶事業
	アルピコ長野トラベル(株)	旅行代理店
	アルピコリゾート&ライフ(株)	ゴルフ場、別荘地管理、レジャー
	アルピコ蓼科高原リゾート(株)	別荘地管理
	アルピコ保険リース(株)	保険代理店、リース業務
	松電事業協同組合	グループETC団体利用事業
	長野エフエム放送(株)	FM放送事業

*1 2024年7月31日現在、長野エフエム放送(株)以外の各社に対する議決権の保有割合は100.00%

主要な事業セグメントと数字でみる各事業

✓ 「流通」「運輸」「観光」「不動産」を主力事業として展開

流通事業



食品スーパー「デリシア」51店舗、業務商品主体の「業務スーパー・ユーパレット」9店舗を運営。また、移動販売「とくし丸」やネットスーパー、無人店舗なども展開

店舗数*1

60店舗

長野県内最大店舗数

運輸事業



松本・長野・茅野の市街地や、上高地、白馬、蓼科などを事業エリアとしバスやタクシーを運行。バス402台、タクシー357台（いずれも長野県内最大車両数）、鉄道8両保有

バス・タクシー車両*1

759台

長野県内最大車両数

観光事業



松本市内5施設、諏訪市内1施設で宿泊事業を運営。それ以外ではサービスエリア4施設（諏訪上、梓川上、姨捨上下）や、蓼科でゴルフ場やキャンプ場などを運営

客室数*1

667室

長野県内企業として
トップクラスの運営施設数

不動産事業



蓼科・原村エリア（標高1,200m~1,800m）で別荘地（949万㎡）を開発。また松本駅前に商業施設「アルピコプラザビル」や白馬の八方バスターミナルなど長野県内各地に不動産を保有

別荘敷地面積*1

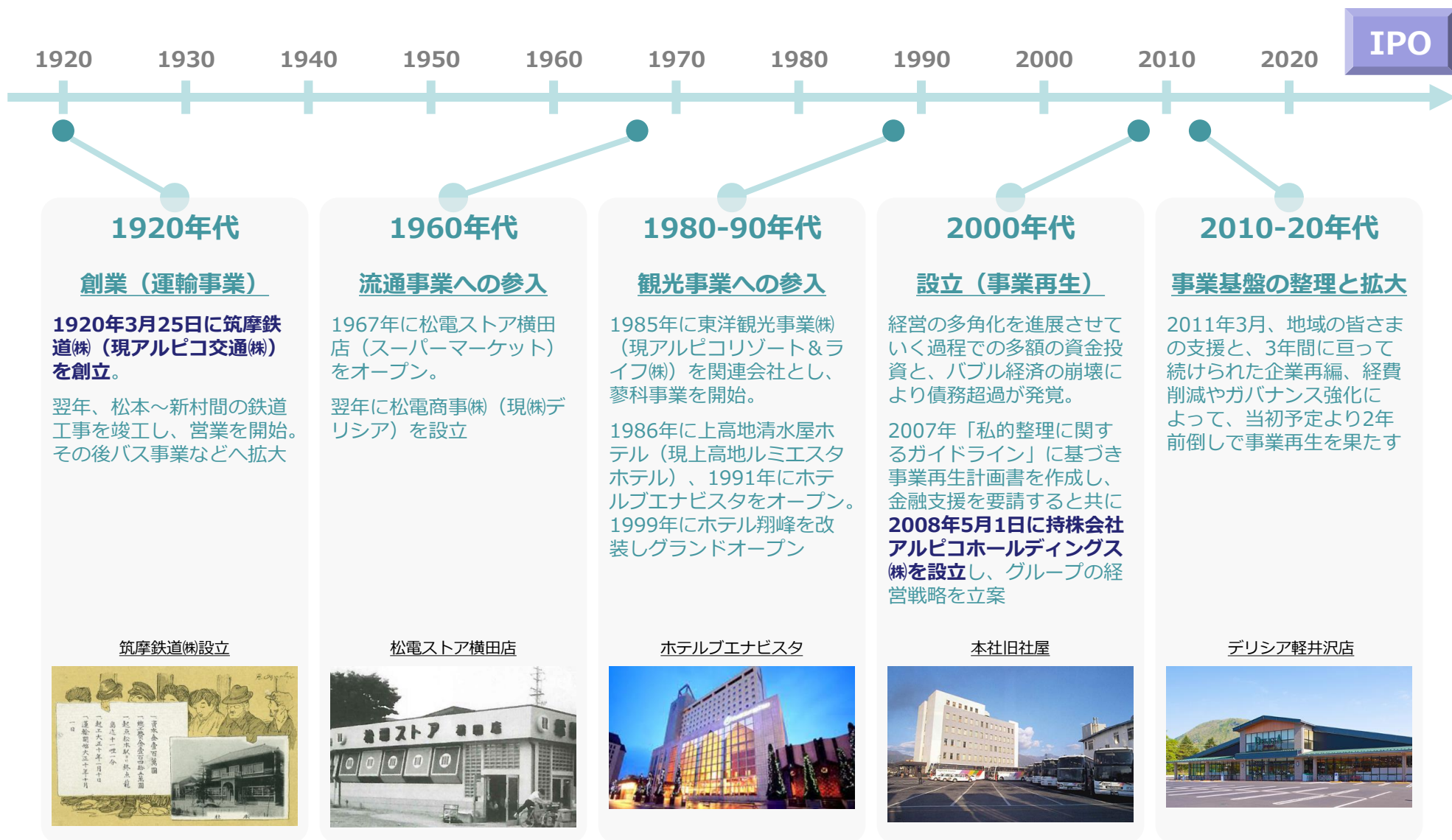
949万㎡

国内トップクラスの標高に
位置する広大な別荘地

*1 各数値は2024年3月末時点（弊社調べ）

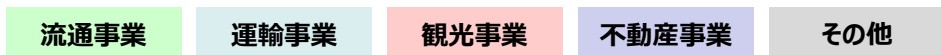
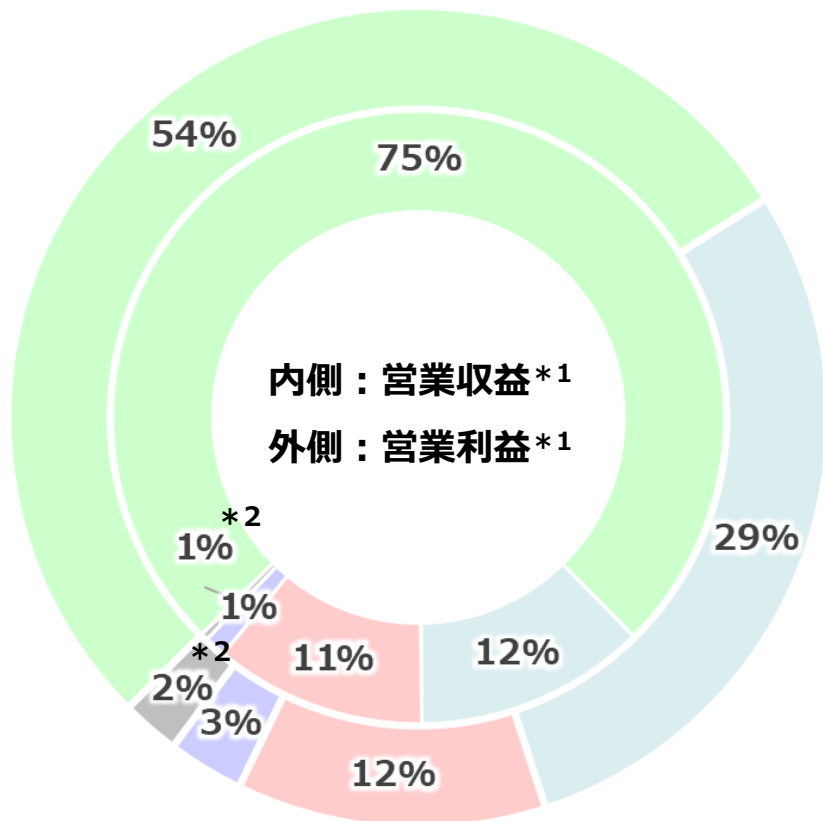
グループの沿革

✓ 祖業は鉄道業。「流通」、「観光」、「不動産」と事業領域を拡大し今日に至る



事業セグメント・連結業績推移

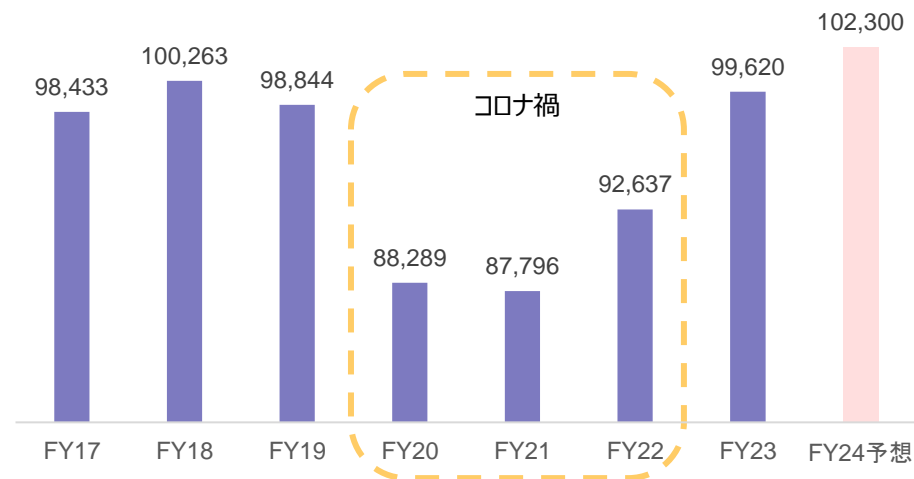
【事業セグメント別構成比（2024年3月期）】



*1 営業収益は外部顧客への営業収益、営業利益は報告セグメントベース
 *2 その他のサービス事業（保険代理店事業など）
 *3 百万円未満切捨て

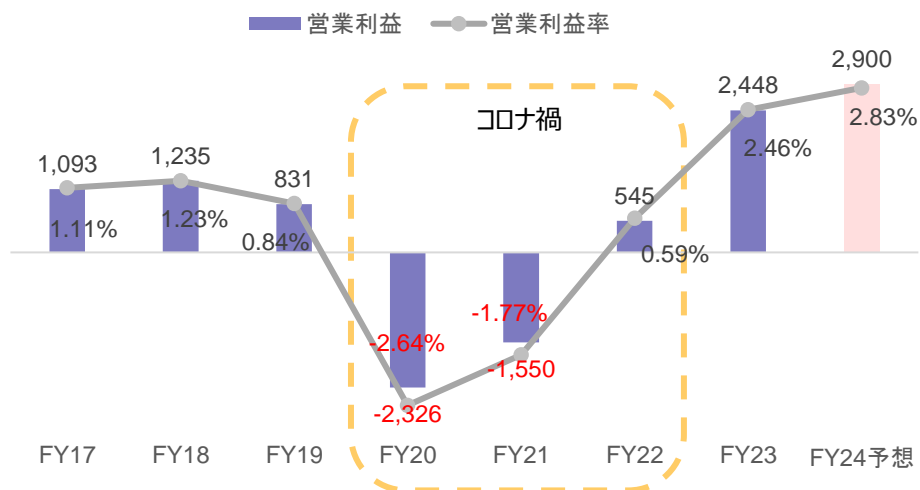
【営業収益の推移】

(単位：百万円)*3



【営業利益及び営業利益率の推移】

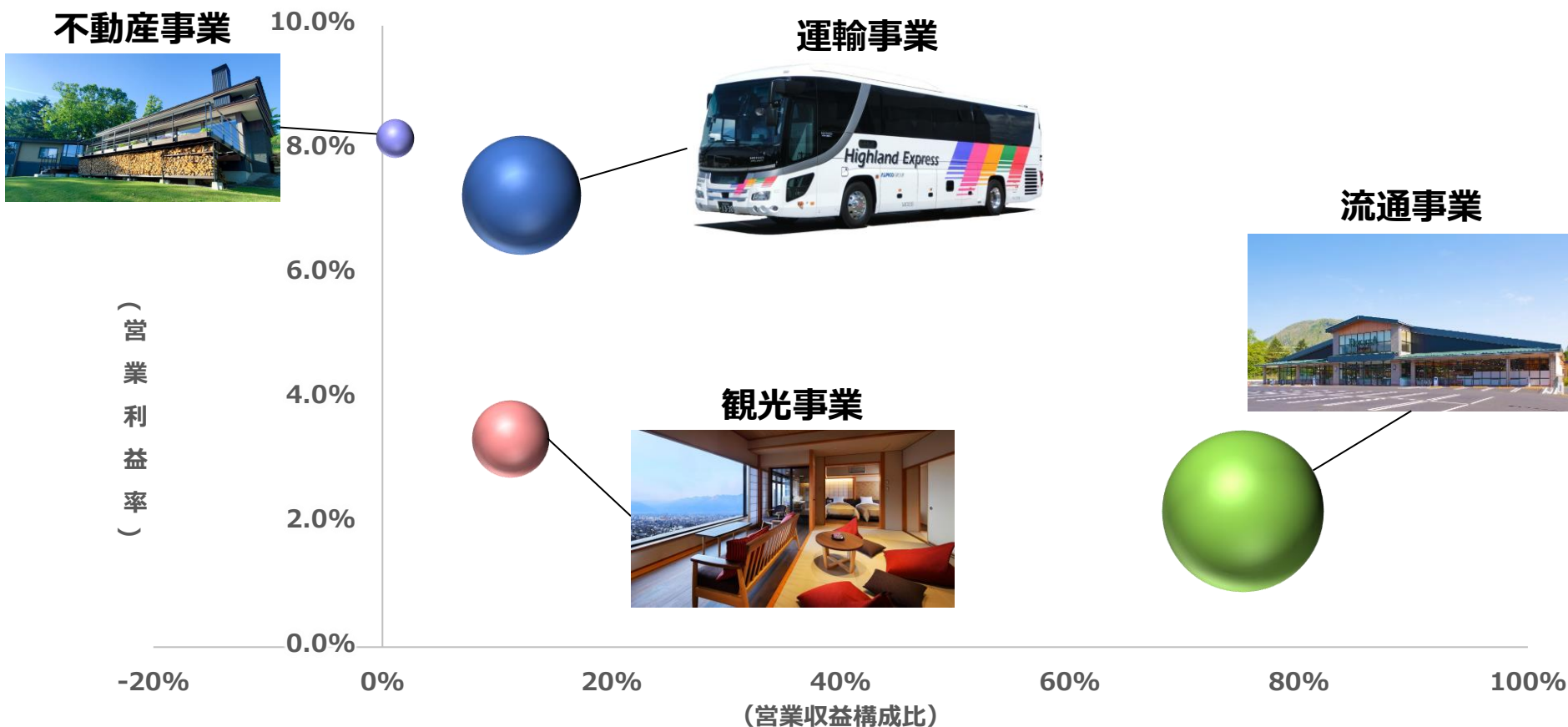
(単位：百万円)*3



多様な事業展開

- ✓ グループの基幹事業で安定成長を続ける流通事業と、継続的な訪日外国人観光客の増加に伴い今後も成長が期待できる観光・運輸事業による、バランスのとれた事業ポートフォリオ

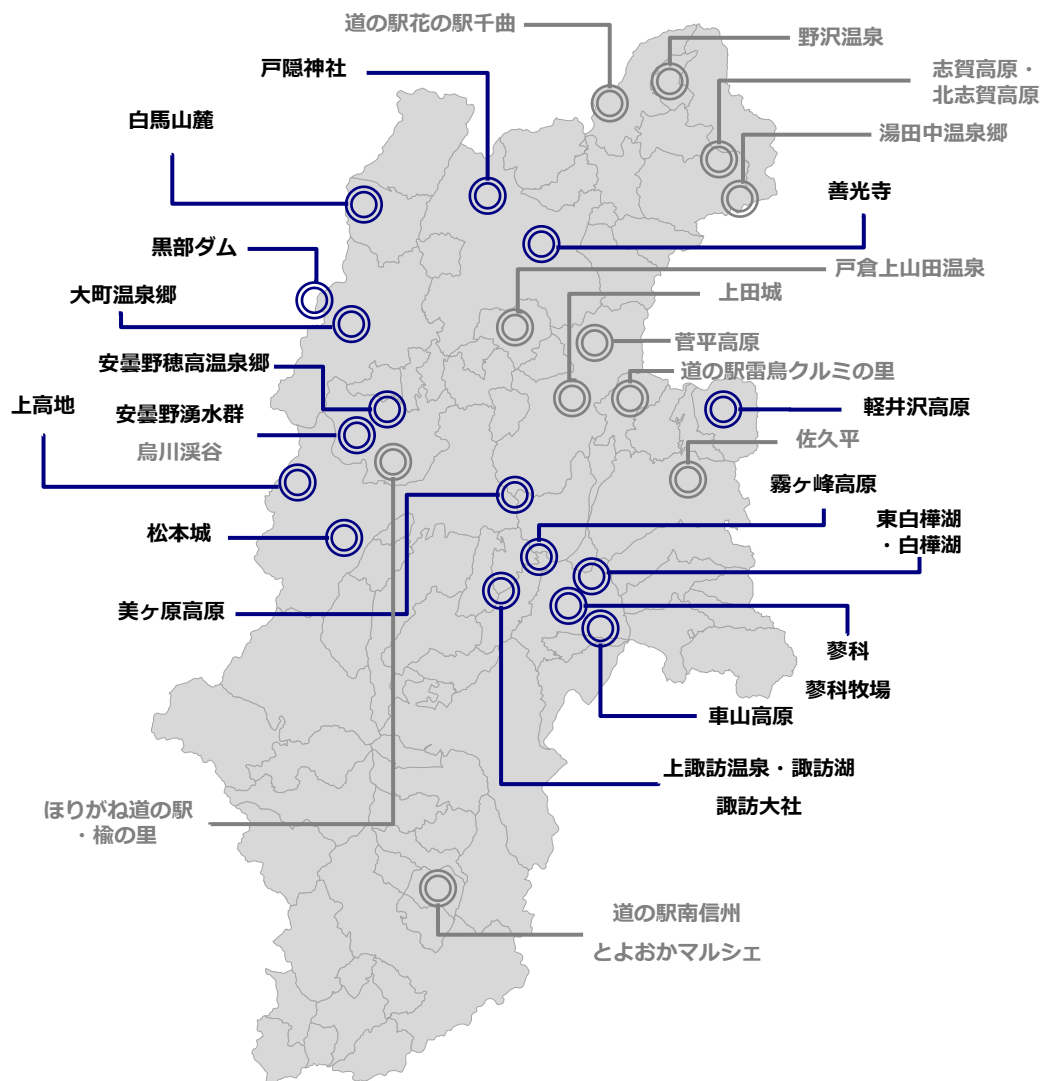
【各事業の営業収益構成比と営業利益率（2024年3月期）*1】



*1 営業収益構成比は外部顧客への営業収益ベース、営業利益率は報告セグメントベース、バブルの大きさは営業利益の規模

国内外から人気の高い観光地において事業展開

【2023年 長野県主要観光地（延べ利用者数上位30カ所）*1】



No.	観光地名	利用客数（千人）
1	軽井沢高原	7,713
2	善光寺	5,803
3	上諏訪温泉・諏訪湖	3,593
4	志賀高原・北志賀高原	2,673
5	白馬山麓	2,339
6	霧ヶ峰高原	2,122
7	東白樺湖・白樺湖	2,110
8	蓼科	1,627
9	戸隠高原	1,511
10	上田城跡	1,357
11	上高地	1,327
12	安曇野湧水群	1,304
13	道の駅 花の駅千曲川	1,108
14	諏訪大社	1,099
15	美ヶ原高原	1,087
16	道の駅南信州とよおかマルシェ	1,034
17	菅平高原	1,026
18	安曇野穂高温泉郷	1,024
19	湯田中渋温泉郷	1,005
20	佐久平	918
21	道の駅雷電くるみの里	909
22	松本城	885
23	大町温泉郷	800
24	戸倉上山田温泉	765
25	黒部ダム	748
26	烏川渓谷	725
27	野沢温泉	715
28	車山高原	702
29	蓼科牧場	694
30	ほりがね道の駅・楡の里	692

*1 出典：長野県「令和5年 観光地利用者統計調査結果」

青色の○は当社グループの事業エリアの観光地

流通事業

- ・新たな店舗ブランド「デリシアミールズ」を中心とした惣菜強化型店舗への改装・新規出店

運輸事業

- ・上高地や白馬などの観光路線バスの強化

観光事業

- ・既存施設を改装し高単価路線への転換

不動産事業

- ・県内主要観光地におけるエリア開発

流通事業の成長戦略

- ✓ 新たな店舗ブランド「デリシアミールズ」を中心とした総菜強化型店舗への改装・新規出店や、新たな販売チャネルの開拓

■ デリシアミールズへの改装・新規出店

- ✓ 生活様式の変化（共働き世帯の増加）や高齢化による中食需要の拡大に対応し、“お総菜”を強化
- ✓ 2023年11月に「デリシアミールズ」を加えたデリシア庄内店がリニューアルオープン。改装後は売上、客数、客単価ともに前年実績を上回り好調に推移
- ✓ 2025年度は長野市川中島に新規出店計画



移動スーパー「とくし丸」



デリシアネットスーパー



ピコカプラスカード



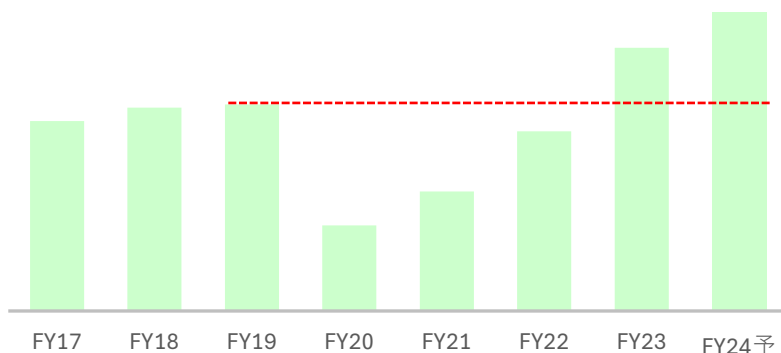
運輸事業の成長戦略

- ✓ 訪日外国人観光客の増加が期待できる、上高地・白馬エリアを中心とした観光路線バス強化
- ✓ 松本・白馬エリアでは、コロナ禍前（2019年）を上回る訪日外国人観光客が来訪

上高地・乗鞍・白骨エリアの路線バス



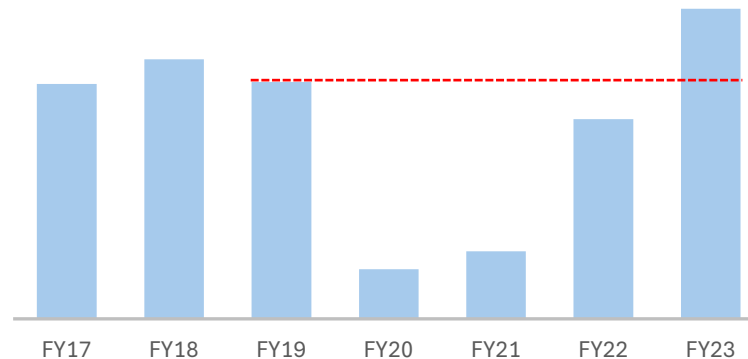
【上高地・乗鞍・白骨エリアの路線バス需要（乗降客数）※4-11月累計】



白馬エリアの路線バス



【特急バス長野-白馬線の需要（乗降客数）※12-3月累計】



観光事業の成長戦略

✓ 客室の高付加価値化など、各施設で改装を実施し差別化を図る

■ 上高地ルミエスタホテルの高付加価値化改修（ラグジュアリーな宿泊施設へ）



上高地ルミエスタホテルでは2024年に客室（16室）を大幅リニューアル（2024年6月）。上高地園内でも有数の広い客室となり、45㎡以上の客室には幅5mの映画館のスクリーンのような窓を設え、大自然の眺望と全室源泉かけ流しの贅沢な独立型バスを設置し快適な滞在を提供

■ 今後の改装計画

多様化する顧客ニーズに対応するため、2024年度は「上諏訪温泉 双泉の宿 朱白（諏訪）」、2025年度は「ホテルブエナビスタ（松本）」、2025-2026年度は「美ヶ原温泉 翔峰」の改装を計画



ALPICO GROUP